

サレドモ舍人親王ハ天武ノ皇子ナレバ、此二號ノ稱ヲイミ給テ、小注ニモ注シ給ハザリシナルベシ、此白鳳ノ號、水鏡ノ說ニヨラバ、舍人親王誕生マシマセシハ則白鳳五年ニ當レバ、記シモラシ給フベキコトニモ非ズ、何レニ考テモ、此二號ハ取ルマジキモノニゾ。

〔扶桑略記五天武〕元年壬申八月、天皇幸野上宮、立年號爲朱雀元年、太宰府獻三足赤雀、仍爲年號。

〔帝王編年記十天武〕朱雀一年信濃國獻赤鳥、仍爲瑞改元。

〔皇帝代略記天武〕朱雀元年壬申信乃國。

〔愚管抄一皇帝代記〕天武十五年○中略元年壬申

朱雀一年元年壬申白鳳十三年元年壬申同

前年內改元歟

〔源平盛衰記二十八〕顯真一萬部法華經事

同○壽永元廿七日ニ改元ノ定アリ、改養和二年爲壽永元年、法皇ノ御氣色ニ依テ被行ケリ、是ハ或人夢想ノ告アリケル故トゾ聞エケル、延喜ニ公忠ノ夢想ニ依テ忽ニ改元アリキ、例ナキニ非、今上去々年卽位、其年大嘗會有ベキ處ニ福原ニ臨幸ノ間、新都其禮難被備アリケレバ、延引シケリ、去年ハ又諒闇也ケレバ被行ズ、今年被遂行ベキニ、大嘗會以前兩度ノ改元其例審ナラズト、沙汰有ケルニ、天智天皇十年ニ崩ジ給シニ、天武天皇固辭シテ卽位シ給ハズ、大伴皇子ノ亂アリテ、次年ノ天武元年七月ニ彼皇子ヲ被誅キ、同八月ニ太宰府ヨリ三足ノ赤雀ヲ獻ズ、仍テ年號トス、朱雀是也ト、左大臣經宗被申ケリ、大外記賴業ハ白雉ヲ改テ白鳳トシテ、十一月ニ大嘗會ヲ被行キト申ケレバ、忽ニ改元アリケルトカヤ、

〔長等の山風附錄二〕賴業眞人の白雉を改て云々といへるは、上に舉たる如く、二年癸酉三月に、白雉を獻れる瑞によりて、すなはち白雉と改元ありけるを、其年更白鳳と改られたる由の傳

のありけるなるべし。○下略

○按此上文引ク所ノ愚管抄及ビ次下引ク源平盛衰記ニ據ル時ハ、一年ニ再ビ改元アリ